

「せとうち発見の道」企画展

「遺跡の井戸から見つかったモノ」

～井戸の跡から分かるくらしと社会～

2019年8月27日（火）～11月24日（日）

瀬戸内市民図書館

近年は井戸を使うことが少なくなりましたが、飲料水などを井戸からとる生活様式は古くからあり、長い間つづいてきました。

古い時代の井戸はどんな存在だったのでしょうか。遺跡の発掘調査では、井戸の跡が見つかることがありますが、井戸の跡からは様々なモノが発見されます。

堂免遺跡（市役所本庁地点）と助三畑遺跡（中央公民館地点）の井戸跡から見つかったモノを中心に、当時のくらしの様子を再発見します。



中世の井戸跡（助三畑遺跡）

堂免遺跡（どうめんいせき）

瀬戸内市邑久町尾張にある集落遺跡です。現在、瀬戸内市役所の本庁がある地点で、「堂免」は地名（小字名）です。

遺跡全体は、南北約 160m、東西約 220mの範囲が把握されています。弥生時代の貝塚として著名な門田貝塚（遺跡）は北東約 100mの地点にあります。

1986 年に邑久町役場の新庁舎が建設されることになり、全面発掘調査が行われました。その後、瀬戸内市役所の本庁舎として増築されることになり、2004 年に増築部分の発掘調査が行われました。遺構は弥生時代から中世に及び、古くから継続的に人々が生活していた場所であることが分かります。

堂免遺跡の井戸跡

堂免遺跡では、多くの井戸跡が見つっています。弥生時代の井戸が 5 基、古墳時代の井戸が 7 基、奈良・平安時代の井戸が 2 基、鎌倉・室町時代の井戸が 15 基などです。

そのうち、ここでは古墳時代の井戸（P-1275）をご紹介します。円形の井戸で、直径 92～93 cm（底は直径 78～82 cm）、深さが 115 cmほどです。丸太材を半分に切って内側をくりぬいた井戸枠が入られています。井戸の底から、意図的に廃棄されたと見られる土器が見つかりました。



古墳時代の井戸跡から土器を発見

土器には焼いた後にわざと開けた穴があり、井戸の廃棄に伴う祭祀行為をうかがわせます。

助三畑遺跡(すけさんばたいせき)

瀬戸内市内邑久町尾張にある集落遺跡です。現在、瀬戸内市民図書館と中央公民館が建つ敷地一帯に広がっています。「助三畑」は地名(小字名)です。

遺跡として把握されているのは、南北約 200m、東西約 110mですが、隣接する他の遺跡とも一連のものと考えられています。邑久町の老人憩いの家(現・邑久コミュニティセンター)や邑久町保健センター、中央公民館が建設される際、1981年と1982年に発掘調査が行われました。

弥生時代から江戸時代の長期間にわたって遺構が検出されています。

中世の井戸跡

助三畑遺跡では、多くの井戸跡が見つっていますが、中世のものだけで 10 基が見つかっています。そのうち井戸 4 は、規模も大きく、出土遺物も多量です。

井戸 4 は、直径 350~420 cm で、すり鉢のようになっており、深さは 200 cm 以上になります。井戸枠は検出されていませんが、曲物(まげもの)片などが出土していることから、井戸底に曲物の井筒があった可能性も考えられています。



中世の井戸(井戸4)から発見されたモノたち

井戸4からの出土遺物は、土器・須恵器(吉備系・京都系・備前系・東播系など)、輸入陶磁器、木製品など多岐にわたり、遠方から持ち込まれたものや、年号を記したものなど注目すべきものが含まれます。



墨書のある瓦器椀



中国からの輸入青磁

中世の井戸から見つかった木製品

助三畑遺跡の井戸4から多数見つかった木製品のうち、いくつかをご紹介します。

『邑久町史 考古編』(2006年) p596~600 参照

◆刀形木製品(かたながたもくせいひん)

ほぼ完形で出土した平造り短刀形の木製品です。刀の各部分まで写實的に表現され、2本の「樋」が墨描きされています。「ねたしひにて候了」との文言が書かれています。

◆荷札(にふだ)

墨書で表に「そでの口」、裏に「三斗」とあり、荷札であったことが分かります。

◆題籤(だいせん)

墨書で表に「養和〇〇沙汰」、裏に「御相〇〇〇」とあります。養和元年は西暦 1181 年。井戸や他の出土遺物の年代を考える上で、重要な資料です。



荷札



題籤



刀型木製品

◆横櫛（よこぐし）

1枚の板から歯を挽き出しています。肩部が丸みをもつタイプと、角ばるタイプの2種類が見つっています。

◆木槌（きづち）

組み合わせ式の木槌で、頭の部分と柄の部分それぞれ見つっています。頭は丸太材を加工し、側面の中央から穴を貫通させて、柄を差し込むようになっています。

長さ 13.8 cm、径 6.8~7.0 cm。

◆下駄（げた）

台と歯をひとつの木から作っている連歯下駄で、前端部半分と台部の一部が欠損しています。長さ 21.0 cm、幅 9.6 cm、高さ 4.2 cm。



横櫛

木槌の頭部分

下駄

0 10cm